

全国瞬時警報システム（Jアラート）による 「弾道ミサイル情報」発表時の対応について

（垂井町立一時的保育室版）

◆Jアラート作動時

登 室 前	<ul style="list-style-type: none">登室せずに、自宅で待機する。
登 降 室 中	<ul style="list-style-type: none">防災無線等からの情報を得て、保護者の判断に従って行動する。自宅、こども園、学校、役場、まちづくりセンターなど建物の中や地下道などに避難する。近くに建物がない場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
登 室 後	<ul style="list-style-type: none">一時的保育室職員の指示に従う。

◆行政からの情報で安全確認ができた場合（弾道ミサイルが「日本の領土・領海の上空を通過した」「日本の領海外の海域に落下した」場合など）

登 室 前	<ul style="list-style-type: none">午前8時45分までに安全が確認できた場合…<u>平常通り登室</u>午前8時45分から11時15分までに安全が確認できた場合…<u>午後1時から登室</u>午前11時15分を過ぎてから安全が確認できた場合…<u>臨時休室</u>
登 降 室 中	<ul style="list-style-type: none">防災無線等からの情報を得て、保護者の判断に従って行動する。防災無線等で安全確認ができるから、登室中であれば一時的保育室へ、降室中であれば自宅へ行く。登室時間については、上記「登室前」と同じ。
登 室 後	<ul style="list-style-type: none">一時的保育室職員の指示に従う。

※下線部については、子どもの安全を最優先し、柔軟に対応すること。

◆何らかの被害がおよんでいる場合（弾道ミサイルが「日本の領土・領海の上空で爆発した」「日本の領土・領海に落下した」場合など）

登 室 前	<ul style="list-style-type: none">防災無線等からの情報を得て、保護者の判断に従って行動する。
登 降 室 中	<ul style="list-style-type: none">防災無線等からの情報を得て、保護者の判断に従って行動する。急を要する状況では、口と鼻をハンカチで覆い、その場から離れ、密閉性の高い屋内、又は風上に避難する。
登 室 後	<ul style="list-style-type: none">一時的保育室職員の指示に従う。

※ミサイル落下の有無、落下場所、弾頭の種類などにより、被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を収集すること。

※特別な場合（登園時刻を遅らせる・臨時休園にするなど）は、一時的保育室もしくは役場から電話連絡などをして、子どもおよび保護者の混乱を避ける。ただし、早朝の場合や通信・情報機器の機能停止を狙う「電磁パルス攻撃」等を受けた場合、連絡不能になることもある。

※状況によっては、緊急で引き取り（降室）をお願いすることがある。

※弾道ミサイル落下時の行動の詳細については、

「国民保護ポータルサイト（<https://www.kokuminhogo.go.jp>）」
を参照する。

※ミサイル落下時の政府の対応状況は、

「首相官邸ホームページ（<https://www.kantei.go.jp>）」
「Twitter アカウント 首相官邸災害・危機管理情報（@Kantei_Saigai）」
から見ることができる。